

### 使い捨てのコンタクトレンズはワンデーでないダメ?!

コンタクトレンズの使用については色々な意見があると思います。21世紀の現在においても「コンタクトレンズ」という言葉を聞いただけで『お金儲けの道具』『非眼科専門医(外科医や産婦人科医)が診察をしている信用できない眼科』など批判的な意見を聞くこともあります。「眼鏡があるのだからコンタクトレンズなんて必要ない」なんていう頑固親父の根性論にも似た意見の方もありません…。ですが、少なくとも「眼鏡をかけなくても視力矯正が可能」という事実は、それ以前のコンタクトレンズがこの世に存在しなかった時代を思うと『世紀の大発明!!』だったであろう事は容易に想像できることです。(LASIKに代表されるような近視矯正手術についても同様、危険性を強調するあまり利益部分を過小評価するのは正しいではありませんよね。これは医療以外の分野にも共通のことだと思うのですが…)約2年前に、コンタクトレンズ関連の感染症についての報道がありました。当初は「コンタクトレンズ(以下CLと略します)ケア用品の性能には優劣がある」といった趣旨の報道でした。しかし、それについては後に否定され「角膜炎感染症はCLのケア方法を誤るユーザー側の責任。CLは正しく使用すれば十分安全。」という趣旨の報道に変化して行きました。「CLユーザーに対して、安全性を担保するための定期診察の重要性やケア方法の徹底を促す」という目的を思えば良い機会であったろうことは否定できませんが、僕個人の感想として結論が「重症な角膜炎感染症はコンタクトレンズのケア方法に問題があるユーザーに多い」という結論付けは「それはそれでやや責任転嫁しすぎてはいないだろうか?」と率直に思う次第です。正しく使っていたとしても、感染症がおきることはゼロではないはずです。(CL使用の無い方だって角膜炎感染症は起こりうるのですから…)事実、僕はこの報道にあった症例のうちの一部を直接診察する機会もありました(当時、大学病院の角膜炎専門外来にお邪魔していたので)が、僕の診た患者さんの中には「正しい使用方法を守っていたにも関わらず感染症を発症した」ケースもありました。(本人の説明なので、もしかしたら偽った説明だったかもしれませんが)日本コンタクトレンズ学会の公表コメントは

- ① 重症な角膜炎感染症はコンタクトレンズのケア方法に問題があるユーザーに多い
- ② ソフトコンタクトレンズ用消毒剤の優劣の問題ではない
- ③ 消毒剤の誤った使用方法は消毒力の低下を招く
- ④ 角膜炎感染症の予防には、正しいレンズケアが必須である
- ⑤ 重要なのはコンタクトレンズユーザーの自覚と自己防衛である。

というものでした。内容については全く異論のないところですが。ケア用品の優劣を問うような報道がなされていただけにそこについては否定して頂けてよかったのかな?と思いました。しかし、ここで問題となるのは「正しいレンズケア」とはいかなるものなのか?というところです。それについてのCL学会のコメントは…

- 1)コンタクトレンズを使用する際には、眼科専門医の処方と指導を受け、定期的な検査を受ける
- 2)手を十分に石けんで洗ってからコンタクトレンズを取り扱う
- 3)コンタクトレンズをはずした後に、必ずこすり洗いをし、十分にすすぐ
- 4)レンズケースは毎日しっかり洗い、自然乾燥させる
- 5)レンズケース内の消毒液は毎日新しいものに交換する
- 6)レンズケースを定期的に新しいものに交換する
- 7)レンズケア用品は開封後すみやかに使う(長期間の使用は危険である)
- 8)コンタクトレンズ、レンズケア用品は清潔な場所に保管する
- 9)コンタクトレンズのすすぎは、こすり洗いの後だけではなく、装着直前にもう一度、レンズケースから取り出した後に、十分量のMPSあるいは保存液(すすぎ液)ですすぐ



…なのだそうです。これは、かなり面倒な作業となりそうですね。仕事に追われて忙しく帰宅してクタクタになってすぐにもベッドに入りたい状況において、365日毎日欠かさずこれだけの手間をかけるケアを100%ミスなく行う(僕が個人的に一番難しいと思うのは、ケアの最初には石鹸で十分に手を洗い水道水で手の汚れを洗い流す必要があるのですが、その水滴が残った状況でソフトタイプのコンタクトレンズを取り扱うと眼が病原体にさらされる危険性があるという事実です。手が完全に乾いたかどうかを確認する方法なんてありませんよね。急いでいるときには特に危ないと思うのです。)ということも、十分な自信をもって公に宣言することは簡単なことでしょうか?少なくとも僕は「多分無理!!」とってしまいました。つまり、「正しく使用するべき」と考えて日々注意をしても「ミス」を完全に防ぐことは難しいのではないかと、いう理論です。極論になりますので異論も多くあるとは思いますが、以上のような事を踏まえると「ソフトタイプのコンタクトレンズを使用するのであれば、一日使い捨てタイプのものを使いなさい!」と言って良いのではないかと、個人的には思っております。つまり「ソフトコンタクトレンズに関連する感染症は、毎日の消毒ケア中にミスがあると発生しやすい」ので「コンタクトレンズをデイリーユースとして、ケアする事無く一回で使い切って処分してしまうのであれば、ケア中の人為的ミスによる感染症の発生はほぼ100%防げるだろう」という理論です。これにまつわる、あるエピソードがあります。コンタクトレンズ学会の理事の中に糸井先生という方がいます。その糸井先生がこれらのCL感染症についての報道があった時期に、TVの健康関連のバラエティ番組に出演されタレントの小倉優子さんと一緒にされたことがあったようで、番組内でソフトCLのケアについての解説をされた時に彼女から「ゆうこりんにはその方法は難しく上手くできないかも…」というような趣旨の発言があり、「何故こんなに分かり易く解説しているのに理解できないのか?」と糸井先生がビックリした、というエピソードのある学会の講演で話されていました。僕の個人的な意見ですが、多分この件について小倉優子さんは「理解できなかった」のではなく「作業の煩雑さと煩わしさのため、実際の日常生活においては実現不能」と判断したからこそ「無理かも…」とコメントしたのではないかと、僕個人としてはゆうこりに一票思ったのです。つまり、優子さんの意見に賛同する方への解決策は「ワンデータイプの使い捨てソフトコンタクトレンズを使う」という事になる訳です。さてこんな突飛な意見ですが、読者の方々はどう思われるでしょうか…皆様が今回の文章を読まれて、今後の何かの参考にして頂ければ幸いです( \_ )

#### ※参考となるサイト

- [http://www.kokusen.go.jp/test/data/s\\_test/n-20091216\\_1.html](http://www.kokusen.go.jp/test/data/s_test/n-20091216_1.html)
- [http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20091216\\_1.pdf](http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20091216_1.pdf)
- [http://www.clgakkai.jp/general/sc\\_houkoku.html](http://www.clgakkai.jp/general/sc_houkoku.html)
- <http://www.coopervision.jp/lenscare/>



携帯サイト用QRコード

<http://www.fujita-ganka.com>